ポスト2020生物多様性枠組交渉から考えるこれからの海洋生態系の保全・管理

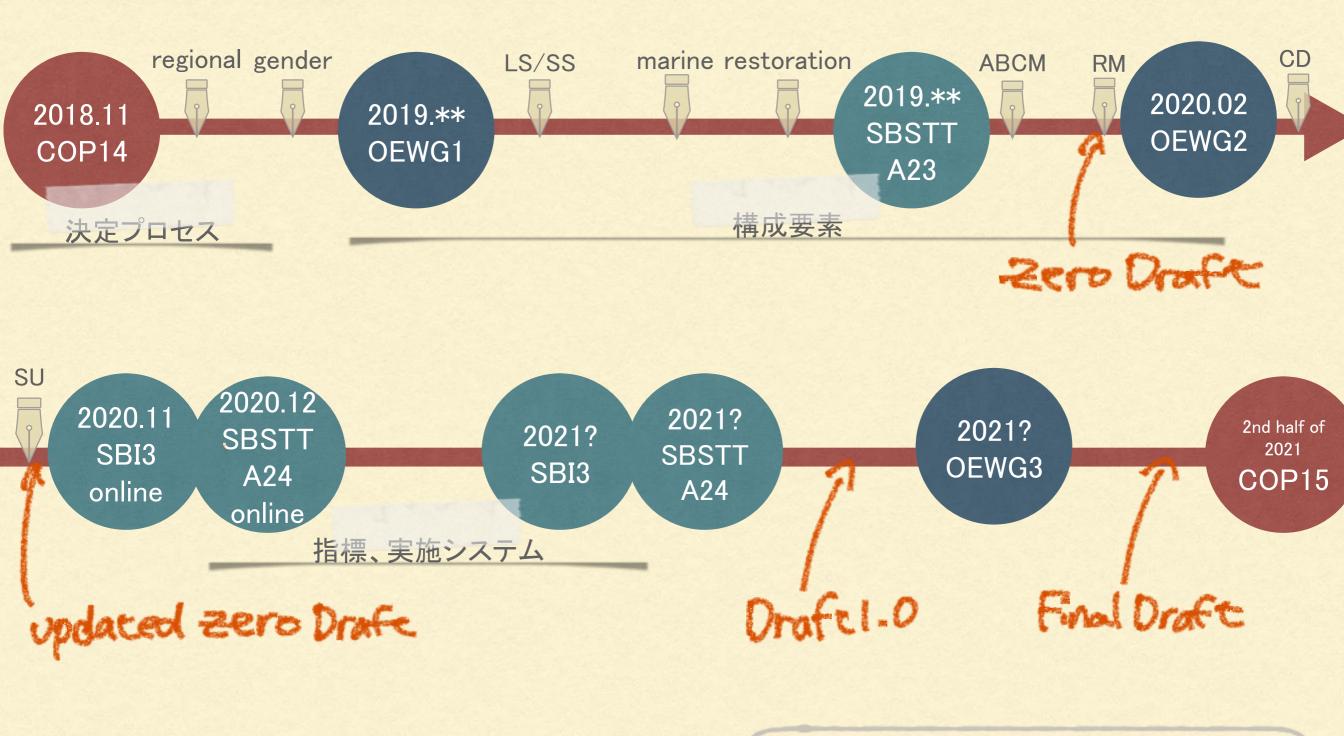
国連大学サステイナビリティ高等研究所(UNU-IAS) プログラム・コーディネータ 柳谷牧子



ポスト2020生物多様性枠組

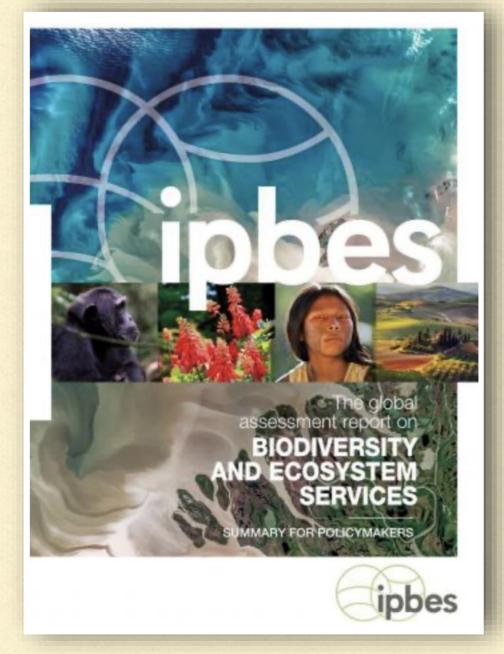
- 生物多様性条約(CBD)の締約国によって作成、採択される2030年までの生物多様性の保全と持続可能な利用、そして遺伝資源の公正な分配に関する国際枠組(目標を含む)
- CBD COP10(2010)に採択された戦略計画2011—2020で採択された2050年ビジョン「自然と共生する世界(living in harmony with nature)達成に向けたメルクマール
- (戦略計画2011-2020は20の個別目標を含んでおり、この目標は「愛知目標」と呼ばれる。)

ポスト2020採択プロセス

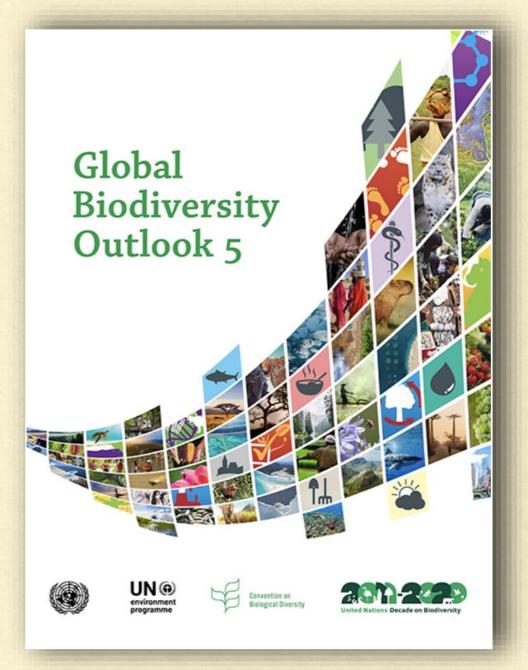


地域別/テーマ別コンサルテーション

議論のベースとなる重要なナレッジ

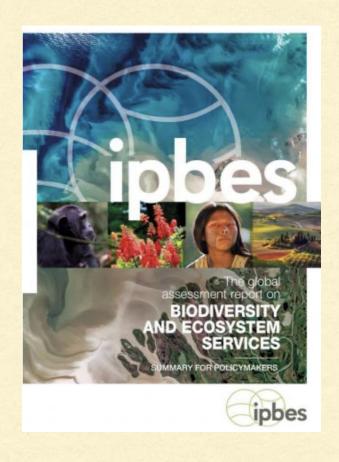


IPBES地球規模評価報告書 (2019.5)



地球規模生物多様性概況第5版 (2020.9)

IPBES地球規模評価報告書のメッセージ

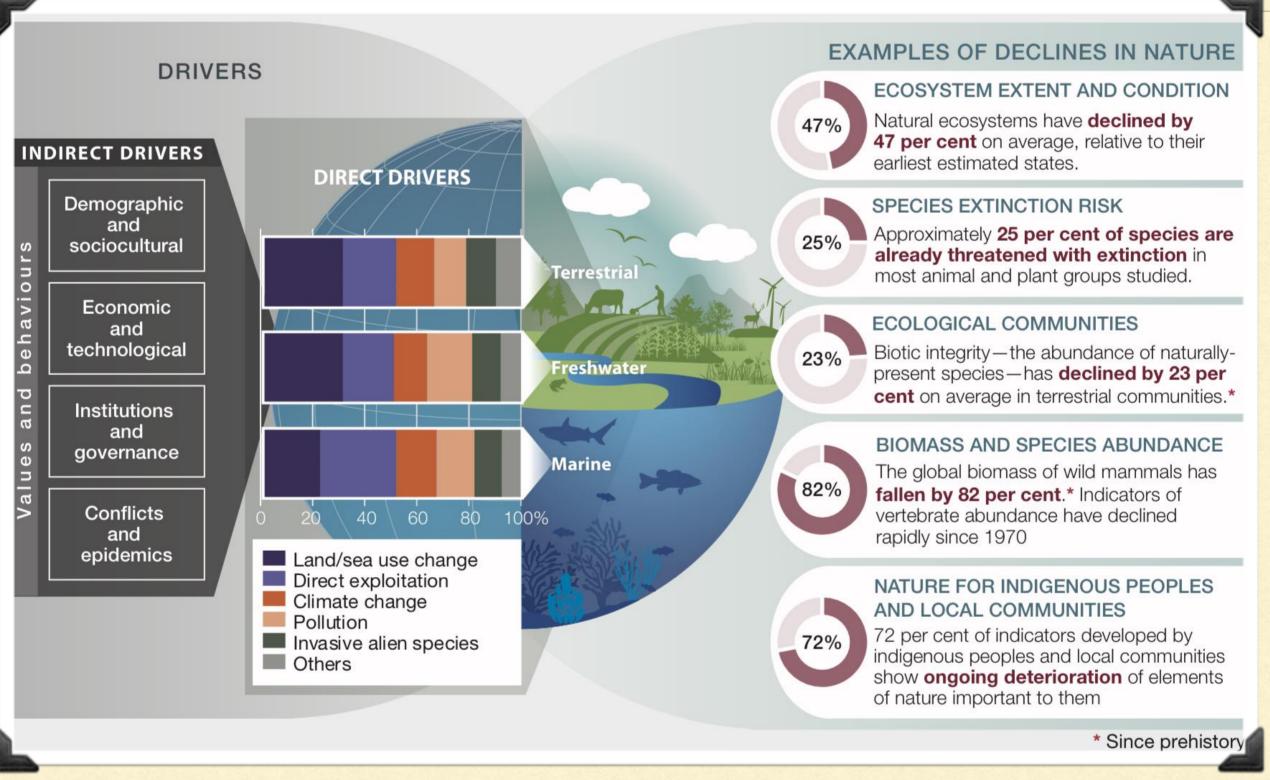


「自然がもたらすもの」は全世界的に劣化している。

- 過去に例がないほど大量の食料、エネルギー、材料が、世界中で人々に供給されるようになった。しかしこれは、将来にわたりこうしたものをもたらす自然の能力を犠牲にしており、その他の多くの自然からの恩恵(水質調整から自然との関係性まで)を劣化させている。
- ▶ 人類がよりどころとする生物圏は、あらゆる空間スケールで比類なきほどに改変されている。
- ▶ 人類史上これまでにないスピードで生物多様性が減少している。
- 評価された動植物種のうち、約100万種が絶滅の危機にある。
- 生息地、花粉媒介動物、病害虫、漁業資源、遺伝資源等で大きな劣化傾向がある。

自然の改変を引き起こす直接的・間接要因の進行は、この50年の間に加速している。

- 地球規模での自然の改変は、この50年間、人類史上例のない速度で進行している。
- 地球規模で自然の改変の直接要因は、影響の大きい順に、1陸と海の利用の変化、2生物の直接的採取、3気候変動、4汚染、5外来種の侵入である。これらの直接的な要因は、生産・消費パターン、人口動態、貿易、技術革新、地域から世界的な規模でのガバナンスといった間接要因の影響を受けている。
- これらの直接・間接要因の変化の速度は、地域や国によって異なる。



IPBES (2019): Summary for policymakers of the global assessment report on biodiversity and ecosystem services of the Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services. S. Díaz, J. Settele, E. S. Brondízio E.S., H. T. Ngo, M. Guèze, J.Agard, A. Arneth, P. Balvanera, K. A. Brauman, S. H. M. Butchart, K. M. A. Chan, L. A. Garibaldi, K. Ichii, J. Liu, S. M. Subramanian, G. F. Midgley, P. Miloslavich, Z. Molnár, D. Obura, A. Pfaff, S. Polasky, A. Purvis, J. Razzaque, B. Reyers, R. Roy Chowdhury, Y. J. Shin, I. J. Visseren-Hamakers, K. J. Willis, and C. N. Zayas (eds.). IPBES secretariat, Bonn, Germany..

現行では、自然の保全と持続可能な利用に関する目標は、達成されない。

しかし、 経済・社会・政治・科学技術における 横断的な <u>transformative changeにより</u>、 2030年そしてそれ以降の目標を達成できる可能性がある。

- ・ 現在も続く生物多様性の減少のため、愛知目標、SDGsのような自然と持続可能性に関する国際的な社会目標は 、現在の取組のままでは達成されない。パリ協定や2050年ビジョンといったの他の目標の達成も危うい。
- 急速な人口増加、持続的ではない生産と消費や関連する技術開発などの間接要因が継続した場合、生物多様性の減少の継続や加速が予測される。

Transformative Changeを促す 緊急かつ協調的な努力がなされれば、 自然を保全、再生、持続的に利用しながら、 国際的な社会目標を達成することも可能。

- 食料、水、エネルギー、健康、良好な生活の質の実現、気候変動や自然保護の課題への対策等の国際的な社会目標は、transformative changeという道のりをたどれば、達成は可能である。
- 現在の構造は、持続可能な社会の実現や生物多様性減少の間接的な要因に向けた取組みを抑制するため、根本的・構造的なtransformataive changeが必要である。
- transformataive changeは、現状の既得権益保持者からの反発が予想されるが、そのような反発はより大きな公益により 克服可能である。
- この克服がなされることにより、相互に支え合う国際目標、先住民族や地域社会活動の支援、民間の投資と発明のための新たな枠組、包括的且つ順応的なガバナンス、多部門による計画、戦略的な政策統合が推進される。そして、公共・民間部門の変革による地域、国そして世界規模での持続可能性の達成に貢献する。

Transformative Change

多元的参加者によるガバナンスの介在(レバー)

- インセンティブと能力構築
- 領域横断的な協働
- 先制志向の行動
- レジリエンと不確実性を鑑みた意思決定
- 環境関連法制度の制定とその執行



ECT

RS

graphic

cultural

HUMAN

ACTIVITIES

EXAMPLES:

Fisheries

Agriculture

- Incentives and capacity building
- · Cross-sectoral cooperation
- · Pre-emptive action
- . Decision-making in the context of resilience and uncertainty
- Environmental law and implementation

LEVERAGE POINTS

- Embrace diverse visions of a good life
- · Reduce total consumption and waste
- Unleash values and action
- · Reduce inequalities
- Practice justice and inclusion in conservation
- Internalize externalities and telecouplings
- Ensure environmentally friendly technology, innovation ar
- Promote education and knowledge generation and sharing

レバレッジポイント

- 良い暮らしへの多様な見方の取り込み
- 消費及び廃棄物の削減
- 既存の価値観からの脱却と行動

DIRECT

DRIVERS

Land/sea-use

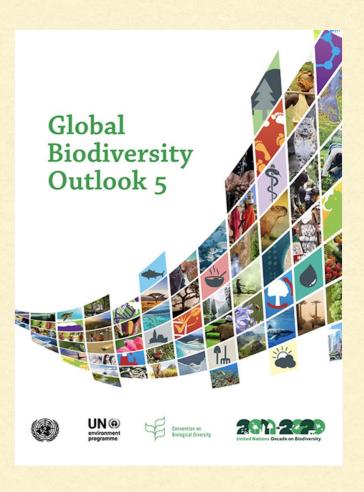
change

- 不平等の削減
- 公正の実現と保全取組における包摂性
- 外部性の解消とテレカップリング
- 環境融和型技術、イノベーション、投資
- 教育、ナレッジの創出及び共有の推進

Figure SPM 9 Transformative change in global sustainability pathways.

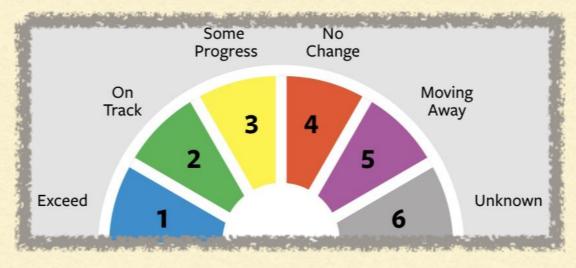
IPBES (2019): Summary for policymakers of the global assessment report on biodiversity and ecosystem services of the Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services.

地球規模生物多様性概況第5版のメッセージ



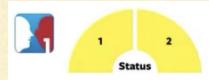
完全に達成できた目標は一つも存在しない。

各目標は、複数の要素を有している。 GBO5では、20の目標を60の要素に分解して評価し、 うち7が達成、38が進展あり、13が進展なし・後退、2が不明と評価された。 すべての要素が達成・進展ありに到達できた目標はひとつもなかった。





指内路袋



生物多様性の価値(1)及び それを保全し持続可能に利用するために取り得る行動(2)を、人々が認識する。

生中的99样红毛的低低的

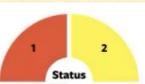


生物多様性の価値が、

国と地方の開発及び貧困削減のための戦略(1)や 計画プロセス(2)に統合され、適切な場合には、国家勘定(3)や 報告制度(4)に組み込まれている。

インセンティグ





補助金を含む生物多様性に有害な奨励措置が(段階的に)廃止、又は改革され(1)、生物多様性の保全及び持続可能な利用のための正の奨励措置が策定、適用される(2)。

性作と消費





あらゆる関係者が、持続可能な生産及び消費のための計画を実施し(1)、自然資源の利用の影響を生態学的限界の十分安全な範囲内に抑える(2)。

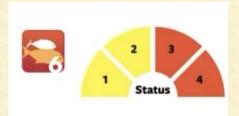
性息地の損坏





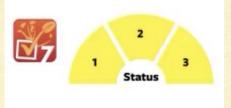
森林(1)等の自然生息地(2)の損失速度が少なくとも半減、可能な場合ゼロに近づき、それらの生息地の劣化と分断が顕著に減少する(3)。

水虚资源、



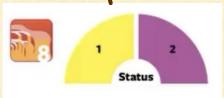
水産資源が持続的で法律に沿ってかつ生態系アプローチを適用して管理され(1)、過剰 漁獲を避け、枯渇したすべての種に対して回復計画や対策が実施され(2)、 絶滅危惧種や脆弱な生態系に対する漁業の深刻な影響をなくし(3)、 資源、種、生態系への漁業の影響が生態学的に安全な範囲内に抑えられる(4)。

将統可能は農林漁業



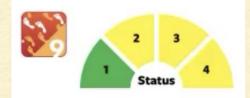
農業(1)、養殖業(2)、林業(3)が、 生物多様性が確保されるよう 持続的に管理される。 過剰漁獲の割合は 1/3 に達し、10 年前より高い。多くの漁業で未だ非対象種の 混獲がある他、海洋の生息地に損害を 与えている。

纸架



過剰栄養(2)などによる汚染(1)が、 生態系機能と生物多様性に有害とならない水準まで抑えられる。

外牙種



侵略的外来種(1)及びその定着経路(2)が特定され、優先順位付けられ、優先度の高い種が制御又は根絶される(3)。

また、侵略的外来種の導入又は定着を防止するために、定着経路を管理するための対策が講じられる(4)。



気候変動又は海洋酸性化により影響を受けるサンゴ礁(1)その他の脆弱な生態系(2)について、その生態系を悪化させる複合的な人為的圧力が最小化され、その健全性と機能が維持される。

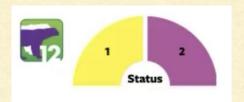
乱獲、富栄養化及び沿岸域での開発がサンゴの白化の悪化要因となっている。サンゴは評価対象の分類群の中で最も急速に絶滅リスクが高まっている。 ハードコーラルの被覆率は一部海域で顕著に減少したほか、礁の多様な生息環境の創出能力が低いサンゴ種への遷移も起こり続けている。



保護地域システムや地域ベースのその他の効果的保全手段を通じて、 少なくとも陸域の17%(1)、沿岸域及び海域の10%(2)、特に、生物多様性と生態 系サービスに重要(3)で生態学的に代表的な(5)地域が、効果的、衡平に管理 され(4)、良く連結されて(6)保全され、より広域の陸域、海域ランドスケープに 統合される。

海域の7.5%(国家管轄圏内においては17.2%,国家管轄権外では1.2%) 管理、調査、モニタリング、管理効果測定などにおいて課題。

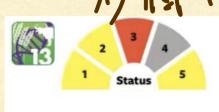
絕城危惧釋



絶滅危惧種の絶滅が防止され(1)、特に減少が著しい種の保全状況が改善がされる(2)

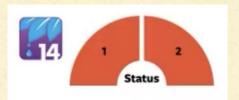
エイ・サメ類の30%、造礁サンゴの33%が絶滅のおそれ

遺伝子の脚様性



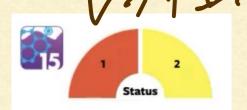
社会経済的、文化的に貴重な種(4)を含む作物(1)、家畜(2)及びその野生近縁種(3)の遺伝子の多様性が維持され、また、その遺伝資源の流出を最小化し、遺伝子の多様性を保護するための戦略が策定、実施される(5)。

性能软件心不

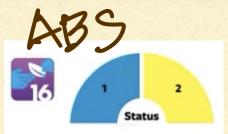


生態系サービスが回復及び保護され(1)、その際には女性、先住民、地域社会、貧困層及び弱者のニーズが考慮される(2)

は総称の再生と

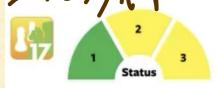


劣化した生態系の少なくとも15%以上の再生により(2)、生態系の回復能力及び二酸化炭素の貯蔵に対する生物多様性の貢献が強化される(1)。



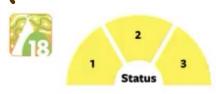
名古屋議定書が、国内法制度に従って施行され(1)、運用される(2)。

生物明釋作国家戰略



各締約国が、効果的で、参加型の改定生物多様性国家戦略及び行動計画を 策定し(1)、政策手段として採用し(2)、実施している(3)。

伝統的知識



生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する先住民の伝統的知識が、尊重され(1)、条約の実施に完全に組み入れられ(2)、反映される(3)

情報とナレップの共有





生物多様性に関する知識、科学的基盤及び技術が向上し(1)、広く共有され、移転され、適用される(2)。

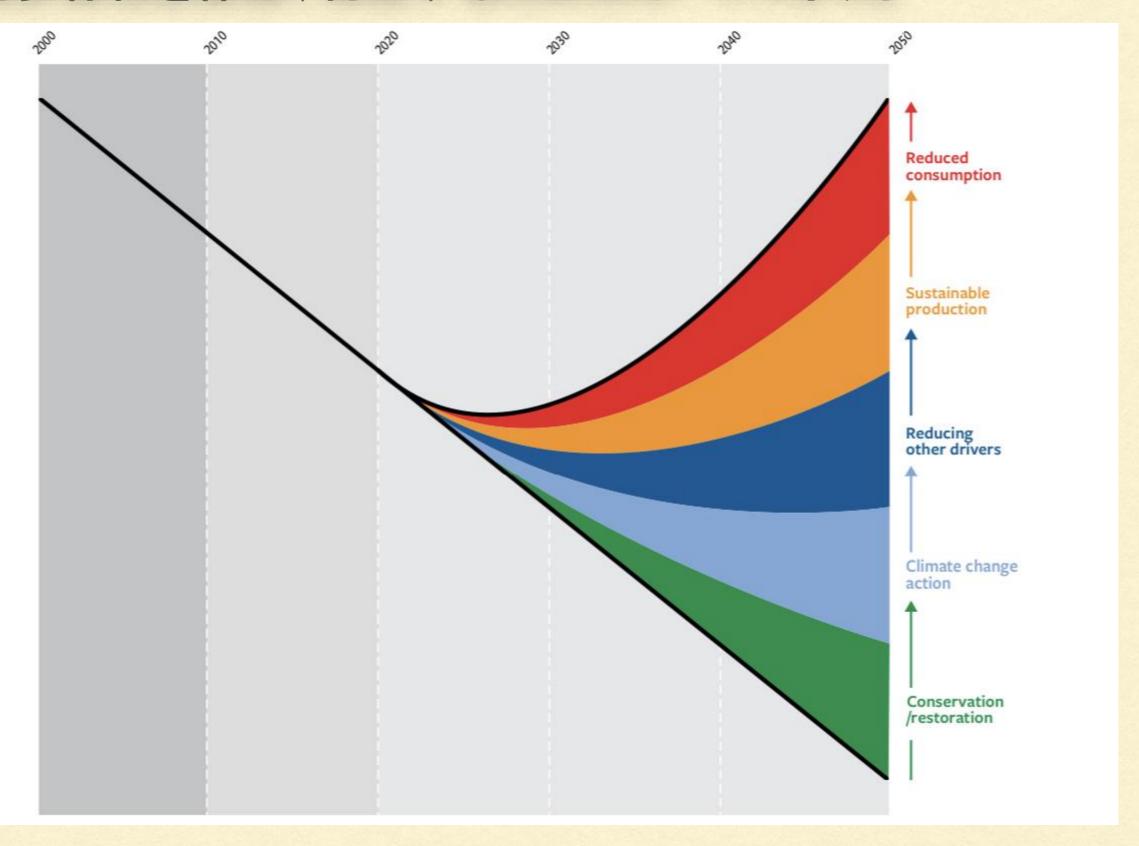
資命即員





途上国への資金フロー倍増(1) 国内の優先事項、開発計画に生物多様性の組込(2) 国内支出等の報告(3)生物多様性の多面的価値評価(4) 国内での資金動員(5)

生物多様性を保全、再生するためのポートフォリオ



Secretariat of the Convention on Biological Diversity (2020) Global Biodiversity Outlook 5. Montreal.

この10年の教訓

統合的で全体的なアプローチ

省庁を横断した対応、経済界の建設的な参画

明確でシンプル、定量的な国際目標

政府の野心向上と効果的なレビュー

生物多樣性国家戰略

政府(国家)の戦略として実質的にも位置付けられる

速やかな執行

計画に時間を取られない

順応的対応

参加型アプローチ

特に女性や地域コミュニティの参画など。関係者の参画が重要

とにかく執行

ポスト2020生物多様性枠組



Means of Implementation

Resource Mobilization, Capacity Building, Technology Transfer, Traditional Knowledge

GBF Updated Zero Draft

Intergenerational Equity, MEAs, Local / Regional / IPLCs, All Relevant Stakeholders, Gender Equity,

Enabling Conditions

Global Partnerships, Political Will, 2030 Agenda for Sustainable Development

13. Mainstream in Policies. Planning, Regulation 14. Mainstream in Production and Supply Chains 15. Sustainable Consumption -**Responsible Choices** 16. Biotechnology & Biosafety 17. Incentives & Subsidies 18. Resource Mobilization and Capacity Building 19. Information Available, including Traditional Knowledge 20. IPLCs, Women & Girls, Youth

Tools & Solutions

Reducing Threats 1. Land/Sea Plan, Retain, Restore 2. Land/Sea Protect, Conserve

- 3. Species Recovery, Conservation
- 4. Sustainable Harvest, Trade, Use
- 5. Invasive Alien Species
- 6. Pollution
- 7. Climate Change

Meeting Peoples Needs

- 8. Use of Species (Fishery...)
- 9. Use of Spaces (Agriculture...)
- 10. Other Regulating Services
- 11. Health Culture
- 12. Benefits Sharing

2050 Goals 2030 Milestones

2050

Vision

Living in Harmony with Nature

(a) Ecosystems, Species and **Genetic Diversity**

- i) Area, connectivity & integrity of natural ecosystems increased by at least [5%]
- ii) Number of threatened species reduced by [X%] & abundance of species increased by [X%]

(b) Nature's Contributions to People

- i) Contribute to nutrition & food security, access to safe drinking water & resilience to natural disasters for at least [X] million people
- ii) Nature is valued through green investments, ecosystem service valuation, financial disclosure

(c) Benefits Shared Fairly and Equitably

- i) ABS mechanisms are established in all countries
- ii) Benefits shared increased by [x%]

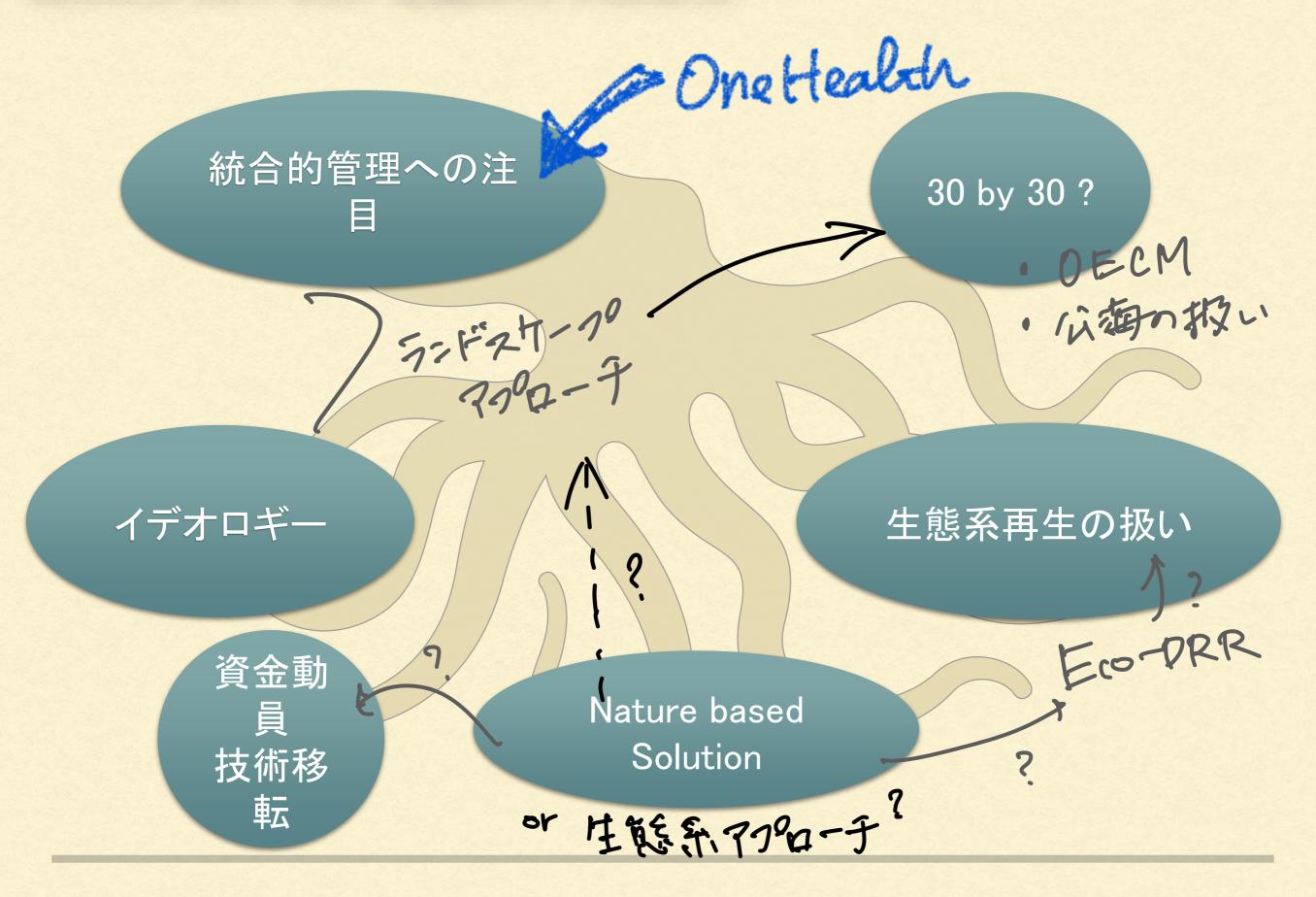
Responsibility & **Transparency**

Planning, Reporting, Review, Additional Mechanisms

(d) Means of Implementation

- i) By 2022, means to implement to 2030
- ii) By 2030, means to implement to 2040

updated zero draft を踏まえて交渉は・・・



海洋生物多様性保全の次の10年

管理効果

30 by 30 ?

ICMをどれだけ進めることができるか

EBSAにおけるカバー率を上げられるか

OECMを組み込んだ、ABCMのコネクティビティ

漁業

Blue Economy

Eco-DRR

生態系再生

- 国連生態系回復の10年
- ・国連海洋科学の10年